



運営主体 社会福祉法人福寿会
住 所 肝属郡東串良町池之原2077番地 1
代表者 理事長 福留 利郎
業種：社会福祉事業（第1種・第2種）

会社概要

- 特別養護老人ホーム ルーピンの里
 - ・従来型多床室50床・ユニット型個室30床
 - ・短期入所事業（ショートステイ）10床
- デイサービスセンター ルーピンの里
- 訪問介護事業所 ルーピンの里
- 居宅介護支援事業所 ルーピンの里
- 認知症対応型共同介護支援事業所
 - ・グループホームるーぴんのさと〈東串良〉
 - ・グループホームるーぴんのさと〈大崎〉
 - ・グループホームるーぴんのさと〈すまいる〉

会社のPR情報

大隅半島東部の東串良町の中心地に所在し、温暖な気候と豊かな自然に囲まれ、ピーマンなどの施設園芸やサツマイモなどの産地として知られるほか、柏原海岸や歴史資源にも恵まれた環境です。地域福祉においても高齢者介護の地域拠点法人としてはもちろんですが、子ども食堂の立ち上げ支援や障がい者雇用など地域における多様な課題に対して法人の持てる組織力や知識経験などを活かし、「ルーピンの里があつて良かった」と言われる事業展開を心がけております。

会社からのメッセージ

福寿会では、平成15年から本格的に障がい者雇用に取り組んでまいりました。介護分野において直接的(体に触れる)介護と、間接的(体に触れない)介護を業務整理する事により、直接介護を無理に任せず「生活支援の周辺業務」に特化し、役割を明確化してミスの影響を小さくすることにより、安心して継続的に働ける環境にしていきました。一人ひとりの障害特性を考慮しながら段階的に業務拡大していき、長期定着と戦力化につなげてまいりました。

また、外部支援者との連携にも重点を置き、ジョブコーチやおおすみ障害者就業・生活支援センター、特別支援学校との情報共有や連携を行うことにより、課題の早期解決や現場だけで抱え込まないようにして、「配慮＝特別扱い」ではなく「業務の工夫」によりすべての人が働きやすい環境づくりに取り組んでまいりました。

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たっての評価ポイント)

数的側面

雇用状況	実雇用率	2.64% (2025年6月1日現在)
	障害者不足数	0人
定着状況	従業員全体の平均勤続年数に対して、 障害者の平均勤続年数が同等以上	全従業員の平均勤続年数がおよそ8年であるのに対し、障害のある従業員3人の平均勤続年数は12年を超えています。
	障害者の平均勤続年数が10年以上	

障害者雇用への取組 (認定に当たっての評価ポイント)

体制づくり

人材面	■ 「大隅地域障害者就労支援ネットワーク会議」へ出席し、障害者雇用に関する環境整備や雇用を継続しやすくする為のノウハウの蓄積、また、障害者の就労支援に関する情報交換会等を通じ、就労促進に役立てています。
-----	---

仕事づくり

事業創出	■ 2024年度の事業活動において経常利益は黒字であり、障害者雇用を持続的に進めるため、継続的な経営・事業運営に取り組んでいます。
------	---

環境づくり

職務環境	<ul style="list-style-type: none">■ トイレの洋式化や手すりの設置等の改修工事及び自動床洗浄機の導入など、障害のある従業員の障害特性に応じた作業施設、設備等の整備を実施しています。■ 障害者の全国的なスポーツ大会へ参加する従業員に対し、有給休暇等を活用し、長期休暇が取れるよう業務を調整するなどして、大会への参加を促しています。
募集・採用	<ul style="list-style-type: none">■ おおすみ障害者就業・生活支援センターと連携し、就労希望者の実習を受け入れています。また、その際は、担当者を配置し、実習期間における業務内容等の説明や指導を実施しています。
働き方	<ul style="list-style-type: none">■ 就業規則において、全従業員が利用できる時間単位の年次有給休暇制度を整備しており、体調不良による通院等により、終日の休暇を取得する必要がないよう対応しています。■ 就業規則において、新規採用者が年次有給休暇を取得するまでの6か月間に限り、体調不良など心身の健康管理が必要な場合に、3日の有給休暇を取得出来る制度を整備しています。
キャリア形成	<ul style="list-style-type: none">■ 全従業員が適用される人事考課制度を導入しており、昇給、昇進等において公正な処遇の運用を図っています。
その他の雇用管理	<ul style="list-style-type: none">■ 障害のある従業員の通勤面に配慮し、通勤可能な場所にアパートを借上げ、社員住宅として安価な負担で提供しています。■ 職場適応上の問題が発生した際に、おおすみ障害者就業・生活支援センター等からの定着支援を速やかに受けられるよう、日頃から連携を図っています。